Asset Management One

償還 運用報告書（全体版）

第12期<償還日2025年４月11日>

ＤＩＡＭ−ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<ＤＣ年金>

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2013年４月２日から2025年４月11日（当初無期限）までです。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	円建て外国籍投資信託「ＤＩＡＭケイマン・ファンド−Ｊａｎｕｓ　グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラスＪＰＹ２」受益証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託である「ＤＩＡＭマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、実質的に内外債券に投資します。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちますが、外国投資信託の流動性および当ファンドの資金動向等を勘案の上決定します。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日（原則として毎年４月18日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>
コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ＤＩＡＭ−ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<ＤＣ年金>」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。
ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2
https://www.am-one.co.jp/

ＤＩＡＭ−ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<ＤＣ年金>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込み分配金	期中騰落率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
(設定日) 2013年４月２日	円 10,000	円 −	% −	% −	百万円 1
１期（2014年４月18日）	11,312	0	13.1	98.4	58
２期（2015年４月20日）	13,260	0	17.2	98.6	134
３期（2016年４月18日）	11,920	0	△10.1	97.3	146
４期（2017年４月18日）	11,653	0	△2.2	96.3	186
５期（2018年４月18日）	12,158	0	4.3	97.4	194
６期（2019年４月18日）	12,149	0	△0.1	96.8	191
７期（2020年４月20日）	12,430	0	2.3	97.0	186
８期（2021年４月19日）	13,334	0	7.3	97.3	206
９期（2022年４月18日）	13,735	0	3.0	97.7	219
10期（2023年４月18日）	13,506	0	△1.7	97.6	190
11期（2024年４月18日）	14,817	0	9.7	98.3	176
(償還日) 2025年４月11日	(償還価額) 18,576.87	0	25.4	−	1

(注１) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
(注２) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
(注３) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。
(注４) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

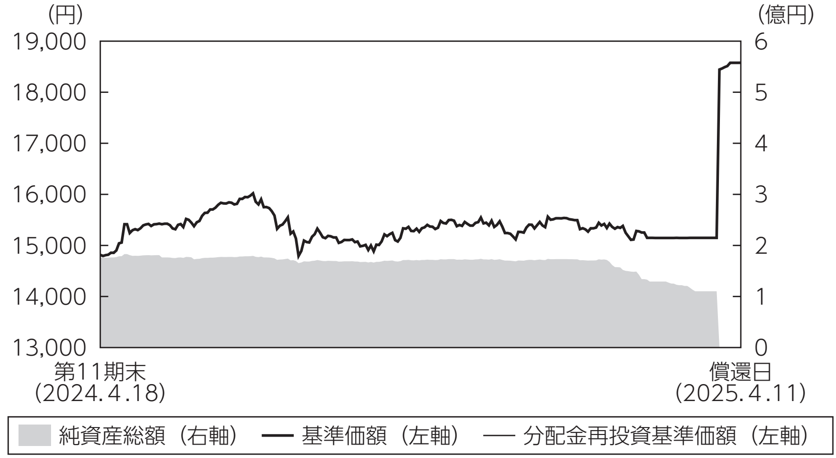
■当期中の基準価額の推移

年　月　日	基準価額	騰落率	投資信託受益証券組入比率
(期　首) 2024年4月18日	円 14,817	% －	% 98.3
4月末	15,041	1.5	98.4
5月末	15,316	3.4	96.5
6月末	15,843	6.9	98.6
7月末	15,550	4.9	98.6
8月末	15,108	2.0	97.0
9月末	15,104	1.9	97.0
10月末	15,485	4.5	97.2
11月末	15,242	2.9	97.3
12月末	15,538	4.9	97.5
2025年1月末	15,327	3.4	96.1
2月末	15,147	2.2	－
3月末	15,148	2.2	－
(償還日) 2025年4月11日	(償還価額) 18,576.87	25.4	－

(注１) 騰落率は期首比です。
(注２) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■設定以来の運用経過（2013年４月２日から2025年４月11日まで）

第12期の基準価額等の推移



第12期首： 14,817円
償　還　日： 18,576.87円
（既払分配金0円）
騰　落　率： 25.4%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

　当期中は、米国やドイツの中短期セクターの国債金利が低下した一方、グローバル社債のクレジット・スプレッド（米国債と社債の利回り格差）は縮小しました。金利低下を受けて投資適格社債、ＭＢＳの債券価格が上昇した環境下、投資適格社債、ＭＢＳの保有などがプラス要因となりました。一方、主要国通貨は対円で下落しました。このような中、債券のプラス要因が為替のマイナス要因を上回り、基準価額は上昇しました。
　当ファンドの基準価額は設定来で85.8％上昇しました（分配金再投資ベース、設定来の分配金０円）。
　設定来では、米国やドイツの国債金利が上昇傾向となる一方、グローバル社債のクレジット・スプレッドは縮小しました。市場環境に応じて相対的に利回りの高い投資適格社債、ハイイールド社債および証券化商品へ機動的に配分したことがプラス要因となりました。主要国通貨は対円で上昇しました。このような中、債券、為替ともプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ　グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラス　ＪＰＹ２	2.9%
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	0.1%

（注１）ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ　グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラス　ＪＰＹ２の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。
（注２）組入ファンドの騰落率は、当ファンドが保有していた期間（2025年２月18日まで）の騰落率です。

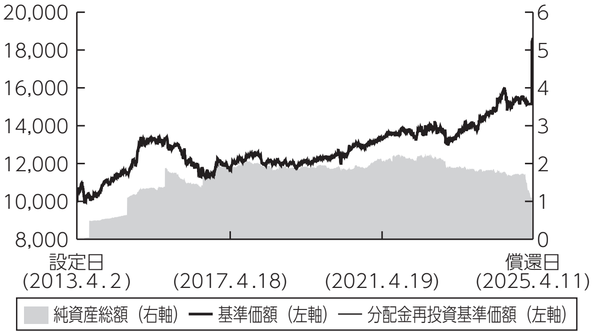
設定来の投資環境

グローバル債券市場は上昇しました。中国の景気悪化懸念やＥＣＢ（欧州中央銀行）の金融緩和などを背景に2016年にかけて上昇しました。英国のＥＵ（欧州連合）離脱の決定などから下落する局面もありましたが、低インフレ、欧州の政治問題、米中貿易摩擦、コロナショックなどを背景に2020年にかけて上昇しました。2022年以降はインフレ高進による主要中央銀行の利上げにより、下落する展開となりましたが、その後は利上げ局面の終了、利下げ開始などから上昇しました。

為替市場は主要通貨が対円で上昇しました。2013年４月に日銀が量的・質的金融緩和を導入したことなどから2015年にかけて円安が進行しました。2016年に英国がＥＵから離脱することを決定するなどしたことでユーロや英ポンドを中心に対円で下落する局面もありましたが、2021年にかけてはもみ合いの展開となりました。その後は2023年にかけて主要国で利上げが行われたため、主要通貨が対円で上昇し、高値でのもみ合いとなり、償還を迎えました。

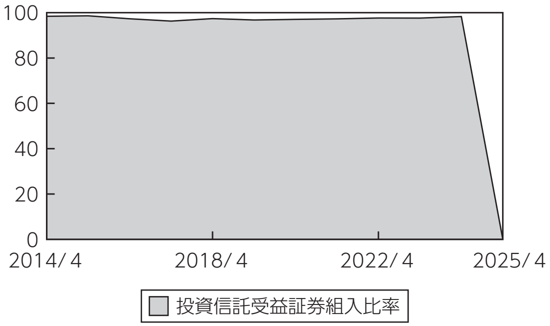
国内短期金融市場では、日銀の大規模な金融緩和政策の影響で、３ヵ月物国庫短期証券利回りは2013年から低下傾向で推移しました。2016年１月にはマイナス金利政策が導入されたことにより、同利回りは一段と低下しマイナス圏で推移することになりましたが、2024年３月にマイナス金利政策が解除されたことを受けて、同利回りはプラス圏となりました。その後も2024年７月、2025年１月に政策金利が引き上げられたことから同利回りは徐々に上昇しました。

＜設定以来の基準価額等の推移＞



（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
（注４）分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

＜設定以来の組入比率の推移（各決算日）＞



（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

　ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ　グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラス　ＪＰＹ２の組入比率は原則として高位を維持し、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ　グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラス　ＪＰＹ２

　運用開始から2014年前半までは相対的に社債を多く保有しました。その後は国債比率を引き上げた一方、2018年は米中貿易摩擦などを懸念し社債比率を引き下げ、2019年はほぼ国債のみとしました。2020年３月にＦＲＢ（米連邦準備理事会）が無制限のＭＢＳ買入を発表したことからＭＢＳの比率を引き上げました。2023年以降、欧米が利上げ終了に向かう中、国債比率を引き下げ、社債比率を引き上げました。通貨は米ドルとユーロ、日本円を中心に保有しました。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

　残存期間の短い国債、政府保証債、地方債などで運用を行いました。

　このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

■１万口当たりの費用明細

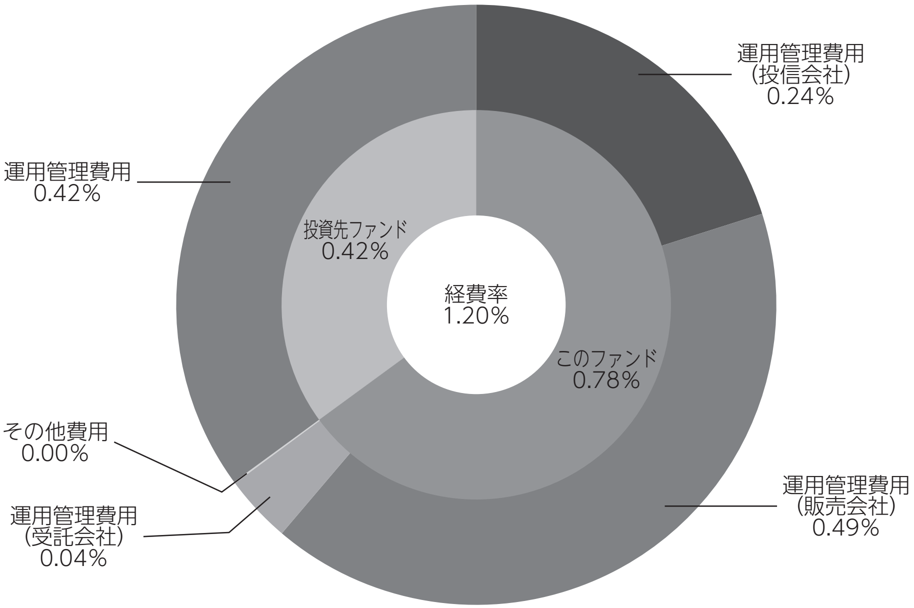
項目	第12期 (2024年４月19日 ～2025年４月11日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	118円	0.766%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,457円です。
(投信会社)	(37)	(0.237)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(75)	(0.485)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(7)	(0.043)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	119	0.767	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注４) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆経費率

　当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.20％です。



経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）（①＋②）	1.20％
①このファンドの費用の比率	0.78％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.42％

（注１）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年４月19日から2025年４月11日まで）

投資信託受益証券

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓグローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラス　ＪＰＹ２	－	－	10.61141	178,596

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年４月19日から2025年４月11日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	－	－	9	9

■利害関係人との取引状況等（2024年４月19日から2025年４月11日まで）

【ＤＩＡＭ－ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<ＤＣ年金>における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【ＤＩＡＭマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決算期	当			期		
区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	11,512	1,099	9.6	4,065	199	4.9

平均保有割合　0.0％

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。前期末の組入れは以下の通りでした。

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ　ァ　ン　ド　名	期　首（前期末）
	口　数
	千口
ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラス　ＪＰＹ２	10.61141
合　計	10.61141

(2) 親投資信託残高

	期　首（前期末）
	口　数
	千口
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	9

■投資信託財産の構成

2025年４月11日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,762	100.0
投資信託財産総額	1,762	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年４月11日)現在

項目	償還時
(A) 資産	**1,762,561円**
コール・ローン等	1,762,495
未収利息	66
(B) 負債	**552,341**
未払信託報酬	552,341
(C) 純資産総額(A－B)	**1,210,220**
元本	651,466
償還差損益金	558,754
(D) 受益権総口数	**651,466口**
１万口当たり償還価額(C／D)	**18,576円87銭**

（注）期首における元本額は118,829,280円、当期中における追加設定元本額は651,466円、同解約元本額は118,829,280円です。

■損益の状況

当期　自2024年４月19日　至2025年４月11日

項目	当期
(A) 配当等収益	**25,430円**
受取利息	25,430
(B) 有価証券売買損益	**1,455,535**
売買益	2,960,694
売買損	△1,505,159
(C) 信託報酬等	**△1,235,972**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**244,993**
(E) 前期繰越損益金	**142,474**
(F) 追加信託差損益金	**171,287**
(配当等相当額)	(167,463)
(売買損益相当額)	(3,824)
(G) 合計(D＋E＋F)	**558,754**
償還差損益金(G)	**558,754**

（注１）(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注２）(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013 年 4 月 2 日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025 年 4 月 11 日		資産総額	1,762,561円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	552,341円
				純資産総額	1,210,220円
受益権口数	1,010,000口	651,466口	△358,534口	受益権口数	651,466口
元本額	1,010,000円	651,466円	△358,534円	1万口当たり償還金	18,576円87銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第 1 期	51,756,899円	58,548,592円	11,312円	0円	0.00%
第 2 期	101,785,331	134,967,198	13,260	0	0.00
第 3 期	122,519,190	146,048,655	11,920	0	0.00
第 4 期	160,127,584	186,598,873	11,653	0	0.00
第 5 期	159,765,078	194,237,250	12,158	0	0.00
第 6 期	157,968,056	191,922,604	12,149	0	0.00
第 7 期	149,974,674	186,419,940	12,430	0	0.00
第 8 期	155,081,663	206,779,182	13,334	0	0.00
第 9 期	160,106,876	219,911,199	13,735	0	0.00
第 10 期	141,370,861	190,937,637	13,506	0	0.00
第 11 期	118,829,280	176,064,844	14,817	0	0.00

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	18,576円87銭

償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは取扱販売会社までお問い合わせ下さい。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「ＤＩＡＭマネーマザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年４月１日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ＤＩＡＭケイマン・ファンドー
Ｊａｎｕｓ グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラス　ＪＰＹ２

当ファンドは「ＤＩＡＭ－ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<ＤＣ年金>」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍円建て外国投資信託
主要投資対象	世界の公社債（※１）を主要投資対象とします。 （※１）主要投資対象となる公社債の主な債券種類は、国債、政府機関債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債等になります。なお、新興国の債券等に投資する場合があります。
投資態度	①主として内外債券への投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ・「ブルームバーグ・グローバル総合インデックス」（注）をベンチマークとし、ベンチマークを上回る成果をめざします。 ・企業ファンダメンタルズに基づくクレジット・リサーチにより、銘柄選択を行います。 ・各種債券セクターへの投資比率を機動的に変更します。 ②ポートフォリオのデュレーションは、ベンチマーク対比で125％から60％の範囲を目安とします。 ③投資する証券の平均格付（※２）は、ＢＢＢ－格相当以上とします。 （※２）平均格付は時価加重平均で判定します。S＆P、Moody's、Fitch（以下、総称して「格付会社」といいます。）による格付が異なる場合は次の対応とします。(a) 格付会社３社の格付が全て異なる場合は中央の格付、(b) 格付会社３社のうち２社の格付が同じ場合は、同２社が付与している格付、(c) 格付会社３社のうち２社のみ格付を付与している場合は、低い方の格付とします。 ④ハイイールド債券（※３）への投資は、信託財産の純資産総額の35％以内とします。 （※３）ハイイールド債券とは、格付会社３社のうち１社以上によって、ＢＢ＋格相当以下に格付けされている債券をさします。また、無格付債券を含みます。 ⑤無格付債券（格付会社の格付が付されていないもの）への投資割合は、原則として純資産総額の10％以内とします。 ⑥米ドル建債券への投資割合は、純資産総額の25％以上とします。 ⑦新興国の発行体が発行する有価証券への投資割合は、純資産総額の30％以内とします。 ⑧同一発行体の発行する債券への投資は、信託財産の純資産総額の５％以内とします。ただし、各国政府の発行する債券、米国の政府機関および政府支援機関の発行する債券を除きます。 ⑨通貨配分を調整するために、為替予約取引を行います。ただし、米ドルへの投資割合の合計は、純資産総額の25％以上とします。 ⑩原則として、現金および現金等価物への投資は信託財産の純資産総額の10％以内とします。 ⑪デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。各国の国債先物をファンド全体のデュレーション・コントロールに活用する場合等があります。 ⑫ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託します。 （注）「Bloomberg®」およびブルームバーグ・グローバル総合インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne株式会社とは提携しておらず、また、ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ　グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラス　ＪＰＹ２を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ　グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド　クラス　ＪＰＹ２に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
主な投資制限	①原則として、株式への投資は行いません。（ただし、コーポレートアクション等により取得した場合、可能な限り速やかに売却することとします。） ②転換社債への投資は可としますが、原則として株式への転換は不可とします。 ③有価証券の空売りは行いません。 ④流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15％を超えないものとします。 ⑤信託財産の純資産総額の10％を超える借入は行いません。 ⑥投資信託証券（上場投資信託証券を含みます。）への投資は行いません。 ⑦金融商品取引法上の有価証券および有価証券関連デリバティブ取引への投資比率は信託財産総額の50％以上とします。
投資顧問会社	アセットマネジメントOne株式会社
副投資顧問会社	ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシー
受託会社	CIBC カリビアン・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
管理事務代行会社	ルクセンブルグみずほ信託銀行
保管銀行	米国みずほ銀行

ＤＩＡMケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ グローバル・コアプラス・ボンド・ファンドはケイマン籍外国投資信託で、2023年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は2023年12月31日現在の財務諸表の原文の翻訳を抜粋したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（Ｊａｎｕｓ グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

運用計算書
（自2023年１月１日　至2023年12月31日）
（日本円建て）

投資損益の部

	単位：日本円
利息収入	1,174,598,402
投資有価証券払戻による損失	(75,227,611)
投資ディスカウント増加およびプレミアム償却	26,533,568
収益合計	**1,125,904,359**
費用の部	
投資運用報酬	161,663,215
管理事務報酬	35,736,493
保管報酬	19,861,936
監査報酬	5,629,315
受託報酬	5,417,482
その他費用	4,743,657
費用合計	**233,052,098**
純投資収益	**892,852,261**
投資有価証券による実現純利益	384,056,615
デリバティブ契約による実現純損失	(538,633,129)
外貨取引による実現純損失	(65,615,124)
期中実現純損失	**(220,191,638)**
投資有価証券による未実現損益の純変動	3,829,003,049
デリバティブ契約による未実現純損益の変動	495,807,089
外貨取引による未実現損益の純変動	37,639,143
期中未実現純増額の変動	**4,362,449,281**
運用による純資産の純増	**5,035,109,904**

	発行済受益権口数	一口当たり純資産価額（日本円）
クラス JPY 1	3,921,615.83	11,904
クラス JPY 2	11,061.41	15,770

（注）ＤＩＡMケイマン・ファンドーＪａｎｕｓグローバル・コアプラス・ボンド・ファンドは複数のクラスで構成されています。
上記のクラス JPY 2は、「ＤＩＡMージャナス グローバル債券コアプラス・ファンド＜ＤＣ年金＞」が投資するクラス JPY2です。

投資有価証券明細表（要約版）
2023年12月31日現在

	償却原価（日本円）	公正価値（日本円）	対純資産%
変動利付債			
その他	1,240,327,231	1,481,906,325	3.16%
変動利付債合計	**1,240,327,231**	**1,481,906,325**	**3.16%**
モーゲージ			
米国			
総合型金融サービス	3,875,847,175	4,005,607,695	8.55%
貯蓄・抵当金融	4,112,449,287	4,263,701,931	9.10%
米国合計	7,988,296,462	8,269,309,626	17.65%
その他	265,258,188	333,429,064	0.71%
モーゲージ合計	**8,253,554,650**	**8,602,738,690**	**18.36%**
モーゲージ - TBA			
その他	1,061,153,809	1,059,640,721	2.26%
合計モーゲージ - TBA	**1,061,153,809**	**1,059,640,721**	**2.26%**
普通債券			
米国			
銀行	118,000,157	137,947,410	0.29%
飲料	113,262,179	120,125,256	0.26%
バイオテクノロジー	288,856,010	310,179,351	0.66%
総合型金融サービス	136,016,385	134,867,631	0.29%
各種電気通信サービス	59,354,213	74,202,051	0.16%
電力	41,597,744	43,013,678	0.09%
食品・生活必需品小売り	29,337,970	40,847,806	0.09%
食品	282,295,019	298,360,821	0.64%
ソブリン	4,744,989,935	4,611,315,257	9.84%
ヘルスケア機器・備品	214,705,593	243,362,533	0.52%
ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	896,941,506	993,375,886	2.12%
保険	139,879,208	148,502,329	0.32%
インターネット販売・カタログ販売	247,289,744	235,179,411	0.50%
インターネット ソフトウェア・サービス	354,992,234	369,466,023	0.79%
情報技術サービス	429,126,673	482,211,483	1.03%
メディア	247,707,393	253,450,325	0.54%
製薬	111,728,740	117,967,175	0.25%
不動産投資法人	287,429,995	311,776,647	0.67%
ソフトウェア	620,467,041	689,419,396	1.47%
テクノロジー ハードウェア・コンピュータ記憶装置・周辺機器	325,475,268	314,699,325	0.67%
繊維、アパレル、高級品	109,436,194	119,763,741	0.26%
無線通信サービス	137,559,580	137,126,022	0.29%
	9,936,448,781	10,187,159,557	21.75%
イギリス			
銀行	94,823,167	99,127,787	0.21%
ソブリン	2,064,852,368	2,111,432,955	4.51%
ソフトウェア	121,574,640	132,808,237	0.28%
イギリス合計	2,281,250,175	2,343,368,979	5.00%
日本			
ソブリン	5,819,768,555	5,703,545,263	12.17%
製薬	79,390,308	81,949,592	0.18%
日本合計	5,899,158,863	5,785,494,855	12.35%
中国			
ソブリン	2,884,302,400	3,598,526,774	7.68%
中国合計	2,884,302,400	3,598,526,774	7.68%
その他	8,456,120,208	9,196,681,551	19.61%
普通債券合計	**29,457,280,427**	**31,111,231,716**	**66.39%**

	償却原価（日本円）	公正価値（日本円）	対純資産%
ゼロクーポン債			
フランス			
ソブリン	2,962,959,030	3,124,998,203	6.67%
フランス合計	2,962,959,030	3,124,998,203	6.67%
その他	365,630,721	402,341,519	0.86%
ゼロクーポン債合計	**3,328,589,751**	**3,527,339,722**	**7.53%**
投資有価証券公正価値合計	**43,340,905,868**	**45,782,857,174**	**97.70%**

ＤＩＡMマネーマザーファンド

運用報告書

第16期（決算日　2025年４月７日）

（計算期間　2024年４月６日～2025年４月７日）

ＤＩＡMマネーマザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにＣＤ、ＣＰ、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10％以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額	基準価額 期中騰落率	債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)	債券先物比率	純資産総額
	円	%	%	%	%	百万円
12期(2021年４月５日)	10,080	△0.1	62.4	－	－	1,064
13期(2022年４月５日)	10,071	△0.1	76.3	－	－	1,192
14期(2023年４月５日)	10,063	△0.1	71.8	－	－	1,253
15期(2024年４月５日)	10,055	△0.1	62.0	－	－	483
16期(2025年４月７日)	10,065	0.1	81.1	－	－	3,881

（注１）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注２）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
（注３）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

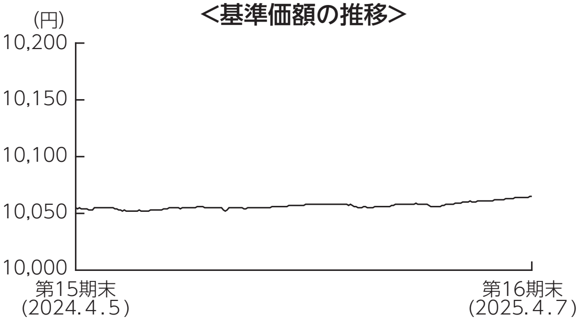
■当期中の基準価額の推移

年　月　日	基準価額	騰落率	債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)組入比率	債券先物比率
	円	%	%	%	%
(期首) 2024年4月5日	10,055	－	62.0	－	－
4月末	10,055	0.0	56.0	－	－
5月末	10,052	△0.0	79.1	－	－
6月末	10,055	0.0	82.7	－	－
7月末	10,053	△0.0	74.7	－	－
8月末	10,055	0.0	82.6	－	－
9月末	10,057	0.0	82.6	－	－
10月末	10,058	0.0	86.8	－	－
11月末	10,056	0.0	77.5	－	－
12月末	10,059	0.0	82.4	－	－
2025年1月末	10,058	0.0	78.9	－	－
2月末	10,061	0.1	81.6	－	－
3月末	10,064	0.1	81.1	－	－
(期末) 2025年4月7日	10,065	0.1	81.1	－	－

（注１）騰落率は期首比です。
（注２）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2024年４月６日から2025年４月７日まで）

<基準価額の推移>



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,065円となり、前期末比で0.1％上昇しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いました。当期間は、保有債券からの利息収入などがプラスに影響し、前期末比で基準価額は上昇しました。

投資環境

国内短期金融市場では、３ヵ月物国庫短期証券利回りはゼロ近辺で始まりましたが、日銀が2024年７月、2025年１月に政策金利を引き上げたことから、同利回りは徐々に上昇しました。

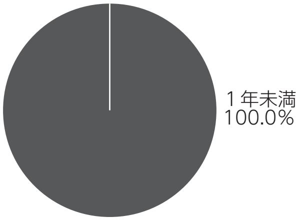
ポートフォリオについて

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

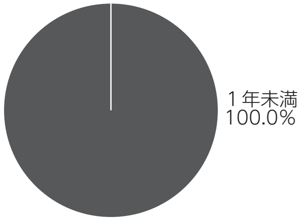
【運用状況】　※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比

期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀は2025年３月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50％とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、米国の関税政策の先行きなど、内外経済の不確実性が高い中では日銀は慎重に利上げを行うと見られ、今後の金利上昇は限定的なものとなることが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■１万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■売買及び取引の状況（2024年４月６日から2025年４月７日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	11,312,467	3,666,456 (4,800,000)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2024年４月６日から2025年４月７日まで）

期中の利害関係人との取引状況

決算期	当			期		
区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	11,312	1,099	9.7	3,666	199	5.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	3,150,000	3,147,577	81.1	－	－	－	81.1
合計	3,150,000	3,147,577	81.1	－	－	－	81.1

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（国債証券）	%	千円	千円	
１２６１回　国庫短期証券	－	100,000	99,997	2025/04/10
１２８０回　国庫短期証券	－	300,000	299,979	2025/04/14
１２８３回　国庫短期証券	－	400,000	399,908	2025/04/28
１２６７回　国庫短期証券	－	400,000	399,844	2025/05/12
１２８９回　国庫短期証券	－	500,000	499,730	2025/05/26
１２９０回　国庫短期証券	－	400,000	399,752	2025/06/02
１２３８回　国庫短期証券	－	50,000	49,960	2025/06/20
１２７９回　国庫短期証券	－	300,000	299,715	2025/07/10
１２４４回　国庫短期証券	－	100,000	99,900	2025/07/22
１２９１回　国庫短期証券	－	400,000	399,372	2025/09/10
４５７回　利付国庫債券（２年）	0.1000	200,000	199,420	2026/02/01
合計	－	3,150,000	3,147,577	－

■投資信託財産の構成

2025年４月７日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,147,577	81.1
コール・ローン等、その他	734,394	18.9
投資信託財産総額	3,881,972	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第２位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年４月７日)現在

項　　　目	当　期　末
(A) 資　　　産	**3,881,972,229円**
コール・ローン等	734,359,151
公社債(評価額)	3,147,577,500
未収利息	21,880
前払費用	13,698
(B) 負　　　債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**3,881,972,229**
元　　　本	3,856,870,274
次期繰越損益金	25,101,955
(D) 受益権総口数	**3,856,870,274口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**10,065円**

(注１) 期首元本額 481,233,562円
追加設定元本額 9,658,635,020円
一部解約元本額 6,282,998,308円

(注２) 期末における元本の内訳

バンクローン・ファンド（ヘッジなし）	15,843,407円
バンクローン・ファンド（ヘッジあり）	13,867,169円
バンクローン・ファンド（ヘッジなし／年１回決算型）	1,088,285円
バンクローン・ファンド（ヘッジあり／年１回決算型）	98,095円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド４月号	11,377円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド５月号	98,027円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド６月号	989,197円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド７月号	395,083円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド８月号	494,102円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド９月号	494,102円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	791,316円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,474,972円
One／フェルマット・CAT債券ファンド（年４回決算型）（為替ヘッジなし）	4,968,204円
One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド（毎月決算・予想分配金提示型）	9,939円
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジあり）	9,940円
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド（年４回決算型）（為替ヘッジあり）	9,940円
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジなし）	5,768,275円
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド（年４回決算型）（為替ヘッジなし）	2,884,138円
クルーズコントロール	3,674,777,764円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース（為替ヘッジあり）	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース（為替ヘッジなし）	1,987,479円
マシューズ・アジア株式ファンド	14,723,185円
Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ａコース）	99,040円
Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）	99,040円
Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）	99,040円
世界８資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）	99,109円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド（毎月決算型）（為替ヘッジあり）	188,380円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド（毎月決算型）（為替ヘッジなし）	109,063円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジあり）	297,442円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジなし）	118,977円
ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド	99,255,584円
ＰＩＭＣＯストラテジック・インカム・ファンド（為替ヘッジあり）	301,134円
ＰＩＭＣＯストラテジック・インカム・ファンド（為替ヘッジなし）	1,493,740円
One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド（成長型）	9,943,324円
One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド（隔月決算・予想分配金提示型）	1,988,665円
期末元本合計	3,856,870,274円

■損益の状況

当期　自2024年４月６日　至2025年４月７日

項　目	当　期
(A) 配当等収益	**3,728,764円**
受取利息	3,728,764
(B) 有価証券売買損益	**△700,961**
売買益	737,456
売買損	△1,438,417
(C) 当期損益金(A＋B)	**3,027,803**
(D) 前期繰越損益金	**2,634,728**
(E) 解約差損益金	**△35,655,556**
(F) 追加信託差損益金	**55,094,980**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**25,101,955**
次期繰越損益金(G)	**25,101,955**

（注１）(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
（注３）(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

（2025年４月１日）